



Rotary 国際ロータリー第2530地区(旧承認番号 3992)

# 郡山ロータリークラブ WEEKLY REPORT 2023-2024

世界に希望を生み出そう

## 会長挨拶

菅野秀士 会長



皆様、こんにちは。大変残念ですが東部ガス(株)福島支社取締役支社長の島貴賢一君、三井住友海上火災保険(株)福島支店長の松井洋介君が転勤ということで退会届が出ております。

今週は東日本大震災から13年目です。福島県もまだまだ完全復興には遠いですが、県民の皆さんの能登半島への支援などについて報道されると心が温かくなります。福島県民も大したもんだなと思っています。是非、東北地方そして能登半島の完全復興が早くなるようにお祈りしております。

ピエピエ・トゥンさんですが、今日でお別れとなります。本当に会員の皆様には可愛がっていただき、逆に我々が癒しを頂いたりしました。1年間ありがとうございました。郡山で身につけたことを大事にして、自身で育んだ志をこれからもしっかりと持ち続けて頑張ってください。

## 退会会員挨拶

東部ガス(株)福島支社

取締役支社長 島貴賢一君



3月22日付けで東京の当社へ異動になることになりました。思い返しますと2022年6月、パーティションで区切られたテーブルで黙食をしていたというのが懐かしくも感じます。この2年間、色々勉強させて頂き楽しく充実した郡山ライフを過ごせました。後任は若くて元気なのが参りますので、宜しくお願い致します。

## 挨拶

ピエピエ・トゥン様



1年間お世話になりました。皆様から覚えたこと、こちらで話した言葉、個人で話した言葉などを覚えています。これから社会にも役に立つように頑張っていきます。ありがとうございました。

## 幹事報告

中原喜範 幹事



退会会員の三井住友海上火災保険(株)福島支店長の松井洋介君からの挨拶は、3月28日(休)に頂きます。

## 親睦活動委員会報告

安藤智重 副委員長



3月17日(日)に麻雀大会が行われます。まだ申し込みが少ないので、皆様奮ってご参加をお願い致します。

## 雑誌委員会報告

矢部浩樹 委員長



「ロータリーの友」3月号を紹介いたします。

- 横組 4頁 RI会長メッセージ
- 7頁 トイレ、その先へ
- 15頁 日本のパブリックトイレ最前線
- 16頁 RI会長エレクトインタビュー
- 20頁 感染症との闘い
- 縦組 4頁 福島に職住を定めた私
- 9頁 この人 訪ねて
- 16頁 友愛の広場
- 18頁 ポリオ根絶には二段階のワクチン作戦を

## ニコニコBOX委員会報告

湯浅大郎 委員長



◎(株)テレビユー福島渡邊文嘉報道部長様のお話、楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

◎本日3月14日、第32回例会です。(株)テレビユー福島報道部長渡邊文嘉様の卓話、楽しみにしております。ピエピエ・トゥンさん、4月からの社会人生活頑張れ!

◎大変お世話になりました。2年間ありがとうございました。

◎ピエピエさん、今日が最終例会。楽しい1年でした。また遊びに来て下さい。そして、東京でも会いましょう。お元気で!

◎卓話楽しみにしております。

◎弊社の報道部長がお世話になります。宜しくお願いします。

菅野秀士君

中原喜範君

島貴賢一君

石黒秀司君

平松敏郎君

渡邊邦浩君

## ふくしまワンダー(株)

代表取締役 高橋 裕一

〒963-0547 郡山市喜久田町卸 1-110-1  
TEL 024-955-6268 FAX 024-955-6267

## クラブ自動車(株)

代表取締役社長 高橋 良和

〒963-8832 郡山市山根町 2-22  
TEL 024-932-8191 FAX 024-934-1297

◎3月誕生祝いを頂きました。ありがとうございます。 平栗俊昭君  
◎「ふくしまSHOW」は本当に面白いです。これってテレビユーで間違いないですか？ 湯浅大郎君

## プログラム紹介 宮川雄次 委員長

今日はテレビユー福島報道部長の渡邊文嘉様にゲスト卓話を頂きたいと思います。2003年に報道部アナウンサーとして入社され、2011年3月の震災時に報道部に異動、その後Nスタふくしまキャスターとしてご活躍され、2023年2月に報道部長として現在に至っております。それでは宜しくお願い致します。



## ゲスト卓話

### 「東日本大震災・原発事故から13年 震災報道のいま」

テレビユー福島  
報道部長 渡邊文嘉氏



私は新潟県新潟市の出身です。テレビユー福島に入社、アナウンサーそして記者ということで報道部で19年程やっております。警察担当や県庁担当記者を経て、その後一時期ラーメンの仕事を担当しましたが、震災関係の報道を担当後、2015年より「Nスタふくしま」のキャスターを去年の3月まで担当しました。

忘れない3.11。2時46分の発生でした。マグニチュード9.0ということで、この前の能登半島の地震がマグニチュード7.6だったので、その1.4の数字は凄まじい数十倍以上の規模の差があります。とてつもなく大きい地震だったということです。郡山でも最大で震度6弱を観測しています。死者は警察発表で1,605人、震災関連死を含めると4,000人以上の方が既に亡くなっています。県内外に避難している人、今も26,000人余りの方がいらしゃいます。当時のテレビユー福島本社の映像が残っております。福島市内は停電です。非常電源で機材は動いているんですが、照明がないから懐中電灯というまさかの選択をすることになります。大津波警報が発表されたのはだいぶ後で、時間的には10分近く経ってから大津波警報に変わりました。津波により、現在の福島第一原発事故が起きました。津波で全ての電源が無くなり、燃料を冷やすための水が無くなってしまいました。水素爆発という言葉が当時飛び交ったと思います。特に私たちの中でよく報じているのは2号機です。2号機は今も一番見た目上では四角くて何も起きていないように見えるんですが、今福島県が汚染されている原因は2号機によるものが多いです。2号機の中の燃料が破損し

たことによって放射性物質が外に出たんですけど、それがちょうど東寄りの風が吹いた時に雨が降ってしまって、浪江町・飯館村そして福島市も割と濃いものが飛んできて、それが落とされて汚染されたという風になっています。当時、福島市の県庁の隣りにある自治会館が県の災害対策本部になりまして、記者たちはここに詰めて色々毎日情報を得て、東京電力からも情報を得てという状況が続きました。

福島の復興は風評被害との闘いが続いていました。私もお米農家の方とかに10年近く密着して取材させてもらいましたが、福島の米は本当に美味しいですね。99.99%放射性セシウムは検出されず、もちろん基準値を超えるものも出ていないんですけど、福島の米は業務用で人気なんです。理由は美味しいのに安いからということなんです。福島県のブランド米として売れるのではなく、福島県産という名前を出さなくていい外食や中食の業務用米として人気です。ただ業務用米なので一般米よりも値段は低くなってしまっているので、そういった意味でも適正な価格なのかという意味では今も風評被害は残っていると言っていると思います。処理水の放出によって福島の応援の動きが去年ありました。いわきや相馬の海産物が売れるという風な状況がありました。

2010年の人口は202万人、震災翌年には196万人に減りました。2024年は176万人です。これは全国的に地方は人口は減っているんですけど、福島はこの減り幅がかなり大きくなっています。福島県の目標としては2040年で150万人いるようにしようと政策をやっていますが、これが達成できるか不透明です。震災前、福島県内の民間の事業所は102,063ありました。これが震災後89,518事業所に減っています。コロナ前ぐらいになって全国的傾向ですが小さいお店が増えたということで、事業所数は右肩上がりになっています。ただ新しい国の調査するのが今年ですので、コロナで相当打撃を受けた業者もありますので、この数字がどうなっているかは注目していきたいと思っています。福島県内で100周年を迎える企業は今年45社あるということで、東北で最多です。福島県では中小の老舗が非常に多い県で、皆さん持続的な経営をされるように頑張っているんだなということがこの数字から分かりました。

これからも福島の報道、そして皆様と一緒に地域に貢献できるようなことをやっていければと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。

## 出席報告 酒井良胤 委員長

総員 / 108名 出席 / 55名 欠席 / 53名  
出席率 / 50.93% 前回修正率 / 61.62%  
他クラブ出席 / 0名



### 国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長: 菅野 秀士 幹事: 中原 喜範  
例会場: 郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111  
例会日: 木曜日  
事務所: 〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1階  
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678  
郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから  
<http://k-rc.main.jp/>



次回 第34回例会  
令和6年3月28日(木)  
会員卓話

「自己紹介」  
日本生命保険(相)郡山支社 支社長 高岡俊之君

編集責任者: 中原 喜範  
副委員長: 鈴木 基修

編集: クラブ会報委員会 委員長: 石井 祐一  
委員: 伊藤 清郷・伊藤 基文・前田 祐希



FSC® 森林認証紙使用